



リサイクルを 楽しむ

秋のリサイクルまつり

9月28日～10月27日は秋のごみ減量・資源化促進月間です。その皮切りに、不用品をリサイクルして楽しむイベントを開催します。

問い合わせ 清掃事業課 (西24北4、☎37・2311)

フリーマーケットやパネル展示など、ごみの減量やリサイクルを楽しむイベントを開催します。

ごみの分別クイズや野菜市・食べ物の販売コーナーもあります。
日時 9月28日(土)、9時～12時
(雨天中止)

場所 北愛国交流広場(愛国町10)

各種ブースで楽しめる



▼青空フリーマーケット

不用になった衣類・日用品などのフリーマーケットです。
出店希望者は、当日8時から会場で受け付けます。(出店は無料)
なお、薬品類・食品品の販売はできません。

▼使用済み小型家電の回収

家庭で不用になったデジカメやビデオレコーダーなどの小型家電(帯広市が指定した16品目)と、パソコン(ブラウン管モニターは対象外)・携帯電話などの回収を行います。

品目の詳細や注意点などは、市ホームページで確認できます。



▲詳細はこちら

▼古布・古着回収

家庭で不用になったシーツなどの古布や衣料品を回収します。汚れのひどいものやクッション、布団などは回収できません。

▼食品ロス削減の取り組みを紹介

食べられるのに捨てられてしま



フリーマーケットでリサイクル



帯広市 秋のリサイクルまつり

検索

「食品ロス」を削減する取り組みについて紹介します。

▼ダンボールコンポスト基材無料配布(無くなり次第終了)

少ない費用で生ごみから堆肥が作れる、「ダンボールコンポスト」の基材を無料配布します。

▼ごみ収集車の展示

乗車体験や記念撮影ができます。



ごみ収集車に乗ってみよう

▼ごみ分別クイズ

イメージキャラクター「リサイクル忍者わけすけ」と、ごみの分別クイズを行います。参加賞もあるので、ぜひ参加してください。



ごみの分別にチャレンジ

▼野菜市・食べ物の販売コーナー

新鮮な地場農産物やポップコーン、綿あめ、ジュースを販売します。

この他にも、紙飛行機教室など、親子で楽しめるイベントを行います。



秋はヒグマの 出没に注意!

八千代・拓成・岩内方面に多く生息

ヒグマの生態や、野山で出会ったり、引き寄せたりしないための方法、出会ってしまったときの対処法を知り、ヒグマとの事故を防ぎましょう。

問い合わせ 農村振興課 (市庁舎7階、☎65・4173)

秋は、キノコ採りなどで野山に立ち入る人も多く、ヒグマとの接触が多くなるシーズンです。
野山はヒグマの生息域であるという心構えを持ち、新聞やテレビ、市ホームページ、注意看板などでヒグマの情報を確認しましょう。

ヒグマと出会わないために

本来ヒグマは、極力人間を避けて行動しますが、私たちの方から近づかないために、次のことに気を付けましょう。

ポイント

- ・日の出、日没時などの薄暗い時間帯は野山に立ち入らない
- ・単独ではなく複数で行動する
- ・鈴やラジオなど音の出るものの携行、大声で話すなど、人間の存在をヒグマに知らせる
- ・エゾシカなどの死骸を見つけたら、速やかにその場を離れる
- ・ヒグマのふんや足跡、臭いなど異変を感じたら直ちに引き返す

ヒグマを引き寄せないために

人間が出す生ごみは、ヒグマにとってごちそうです。
一度、その味を覚えたヒグマは餌を求めて繰り返し人里に現れる

ようになり、人間との接触事故を引き起こす原因になります。

ポイント

- ・収穫後の農作物や、家庭から出た生ごみを野外に放置しない
- ・庭先の果物を収穫せずに、放置したままにしない
- ・山林などに、おおいの強い食べ物を持参しない
- ・弁当や飲み物などの食べ残しや、容器は必ず持ち帰る

それでも出会ってしまったら

ヒグマと遭遇したときに、確実に身を守る方法はありません。

一番大事なことはヒグマと出会わないことです。もし出会ってしまったら次のような行動が有効といわれています。

ポイント

- ・冷静な状況判断のために、まずは「落ち着く」
- ・大声を上げたり、走って逃げたり、石をぶつけたりしてヒグマを刺激しない
- ・至近距離の場合、ゆっくり両腕を上げて姿を大きく見せ、ヒグマの目を見ながらゆっくりと後退する

特に注意が必要な地域

八千代・拓成・岩内方面では、ヒグマの生息が確認されています。特に八千代町や拓成町では、目撃情報も多くなっており、岩内町の林道ではヒグマのふんも多数確認されています。また昨年は、作業中の工事現場でもヒグマの成体が目撃されました。

戸蔭別川での釣りや、防風林・森林内でのキノコ採りをする際は、遭遇する可能性があることを十分に認識してください。

ヒグマって どんな動物?



大きさ 体重は雄で150～400キロ、雌で100～200キロ程度。

暮らし 極力人間を避けて、やぶの中などに隠れて行動することが多い。早朝や夕方に比較的活発に歩き回る。

特徴 聴力に優れ、音に敏感で、嗅覚も非常に発達している。また、逃げるものを追い掛ける習性があり、時速50キロ程度で走ることができる。



クマのふん (今年6月岩内町にて撮影)



クマの前足、クマの後足、人の足、クマの足跡 (北海道環境生活部環境局 生物多様性保全課HPより)